

講義名	企業倫理論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	李 東浩		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	24088

主題と概要

本授業は独自開発した「ファイブ・モジュール」考える学習型授業教育法を実施する
 本授業の実施方法の詳細については、<https://ryuka.repo.nii.ac.jp/>「高等教育推進センター紀要 第2号」以下の論文を参照してください(全文無料ダウンロード可)。
 李東浩(2017)「学生の心を掴む生きた教育 教学双方の意識転換によるアクティブラーニング」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第2号 pp.75-104(30頁)
 ちなみに、本ゼミの実施方法の詳細について、以上同様に 第3号 以下の論文を参照してください。
 李東浩(2018)「学部ゼミ運営に関する一模索 「楽しく頑張る」から「ひとつづくり」」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第3号 pp.(19頁)
 単位だけ欲しいが学生・自信のない学生は履修を勧めない
 真面目な学生・本気に勉強の意欲がある学生は強く勧める
 毎回、面白いビデオがある
 毎回、楽しいレスポンス問題回答がある
 毎回、討論時間と発言時間がある。真正銘の双方向・多方向的な授業
 先生だけからの学びではなく、学生同士が互いに勉強できる革新的な学びの仕組み
 企業倫理をはじめ、コーポレート・ガバナンス(企業統治)、コンプライアンス(法令順守)、CSR(会社の社会的責任)、内部統制などの問題を中心に進める。不祥事の抑止、経営の健全性を確保することにも、近年、執行役員制度・社外取締役/監査役の導入など経営の効率性を促進する試みも各国で盛んに展開されている。本講義では、理論の発展と共に、企業倫理観の良い例と良くない例について具体的なケースに触れながら解説する。

到達目標

「効率性」「営利性」など企業の利益追求活動と「人間性」「社会性」など企業倫理的な視点から総合的に企業倫理観を養成する。
 学生は、本講義を学修することによって得られた企業倫理の理論とケースの知識と能力を身につけ、正しい倫理観を形成できる。

提出課題

1. 毎回レスポンスによる問題提出がある(加点対象)。
2. 授業まとめ文を自由に提出すること(加点対象)。

評価の基準

期末試験:100%。
 ただし、以下の加点・減点ルールがある。
 警告私語・自由出入など迷惑行為・不正行為は毎回10点減点又は即時単位取得不可能にする。
 授業参加の質量、討論、発言、優秀な授業まとめ文などでプラスに評価・加点にする。

履修にあたっての注意・助言他

- 先輩からの以下の意見を是非参考してください。
1. 「五感に触れる画期的な授業」: 充実な内容、効率的な進め方で知識と能力を身につけられる!
 2. 「この授業を1つの企業とすると、CEOに李先生で社員が私たち生徒だとすると、社員に意見する場を与えて、それを共有し、すぐに実行する。優良企業だと思います。モチベーションがとても高く維持できています」
 3. 「いま4回生だがもっと早くこの授業に出会いたかった」: 知識そのものだけではなく、知識を獲得する姿勢と方法を学べる!
 4. 「単位を取ることはとても大切ですが、この授業では、それだけのための授業ではないと私は、強く思います」

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

1. レジメ(=プリント)等資料は必ず各自事前に RYUKA Portal からダウンロードと印刷して教室まで持って来てください。すべての資料を一ヶ月間だけ掲示するので、早めにダウンロードを済ませてください。
2. 授業はPPTとレジメ・資料、映像、討論で進む。レジメには穴埋めが多数設けられ、PPTと確認しながら記入してもらう。
3. 参考文献: 『トップ・マネジメントの経営倫理』白桃書房 2009。『経営倫理』同文館出版 2003年。『図解 コンプライアンス経営』東洋経済新報社 2006年。他授業中随時紹介。

授業計画

先輩からの以下の意見をも是非参考にしてください。
 本授業の履修を勧めない3つの理由:
 1. 毎回出席し授業まとめ文を提出 結構大変、面倒くさいかなあ。
 2. 授業内容も多く教室規律も厳しい 私語・居眠り・携帯弄りなどは不可能に近い。
 3. 期末試験は難しい 結局、真面目でないで単位を取る確率は低いかなあ。

- 授業シラバス。注:()内はビデオ内容。
- 1 イントロダクション:講義の概要と進め方(公平とは何か)
 - 2 経営者倫理観に関する調査その1(大雪後のショベル値上げは正当なのか)
 - 3 経営者倫理観に関する調査その2(3人対1人の殺人は正義なのか)
 - 4 企業倫理と不祥事:雪印食中毒事件その1(あなたの究極の選択:路面電車)
 - 5 企業倫理と不祥事:雪印食中毒事件その2(5000人の白熱教室:市の命名権他)
 - 6 企業倫理と不祥事:エンロン事件その1(巨大企業エンロン、如何に崩壊したのか 上篇)
 - 7 企業倫理と不祥事:エンロン事件その2(巨大企業エンロン、いかに崩壊したのか 下篇)
 - 8 企業倫理の良い例:トヨタ・キヤノン(トヨタの米国公聴会2つ)
 - 9 経営原理と経営モデルその1(モダン・タイムズ)
 - 10 経営原理と経営モデルその2(5000人の白熱教室:ダフ屋と大学寄付)
 - 11 企業倫理論の背景と発展(ハーバード大学白熱教室:功利主義の功罪 前編)
 - 12 不祥事と企業統治:導入(効用の質:高級と低級の喜び? 前編)
 - 13 現代企業の所有支配、企業統治と企業倫理その1(効用の質:高級と低級の喜び? 後編)
 - 14 現代企業の所有支配、企業統治と企業倫理その2(正義と権利:課税に正義はあるか?前編)
 - 15 大学の倫理(イエール大学)

予習・復習

毎回、「知識は力になる」こと、を実感できる。
 毎回、「能力を蓄積する」こと、を実感できる。
 だから、他のたくさんの授業のように、期末だけで猛勉強による一発勝負することはない(人生も同じような状況だろう!つまり人生も基本的に一発勝負ではなく、長年平日の積み重ねる努力こそは大事!)。
 恐らくこの授業は、あなたの頭に永遠に残る大学授業の一つである(授業が終わっても長く長くまで鮮明に覚えるかも)

備考

学生による評判が高い本授業は以下の特徴があるので、真面目な心構えがあれば是非一度体験してみませんか。
 遣り甲斐のある授業(そうか!これこそは大学らしい授業だ!)。
 静かで受講できる環境(私語ほとんどない!)。
 退屈ではない(退屈の時間さえもない!)。
 みんな一緒に互いに勉強する(自力・他力、皆の力を感ぜよう!)。